

卒業研究(Graduation Thesis)

担当教員名	C 全	
学科・専攻, 科目詳細	都市システム工学科 5年 通年 6単位 演習	
学科のカリキュラム表	専門科目 必修科目	
共生システム工学の科目構成表	専門工学科目 演習系	
学習・教育目標	共生システム工学	D-3(30%) E-1(20%) G-2(40%) H-1(10%)
	JABEE基準1(1)	(d)(f)(g)
科目の概要	都市システム工学科の課程で得た学識を総合化させ、指導教員のもとで自主的に選択した卒業研究課題に取り組む。研究テーマは、橋梁工学、環境地盤工学、コンクリート工学、都市地域計画、海岸工学、河川工学、環境工学、構造工学、建設機械工学の各分野から選択する。	
テキスト(参考文献)	各研究室で個別に選定される。	
履修上の注意	各研究課題に対して、自ら目標を設定し、資料収集、実験実習及び理論解析を通して研究手法を学び、自主的に問題を解決する姿勢が重要である。	
科目の達成目標	(1)工学の基礎知識を応用・統合して自ら卒業研究課題を設定するとともに、広い視野から体系的・実践的に問題を発見・解決できる(G-2)(H-1)。 (2)コンピュータの使い方やプログラミング手法、数値計算法、データ処理技術及び情報伝達の理論・手法を修得し、種々の設計や理論解析に応用できる(G-2)。 (3)継続的に物事を探求できる(D-3)。 (4)得られた研究成果を技術論文としてまとめ、それを口頭で他者に伝え討議することができる(E-1)。	
自己学習	各自で設定した研究テーマに関する学習	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	その他
	成績は、卒業研究論文の内容(50%)、卒業研究の記録(10%)及び中間発表と最終審査(40%)を総合し、60%以上達成したものを合格とする。但し、卒業研究論文を期限内に提出し、中間発表と卒業研究発表会において発表したものを最終審査の対象とする。 達成目標(1)、(2)については、提出された研究論文の内容から主査及び副査が評価するとともに、都市システム工学科全教員による審査の結果から評価する。 達成目標(3)については、提出された卒業研究の記録から主査が評価する。 達成目標(4)については、中間発表と最終審査の口頭発表の状況から都市システム工学科全教員が評価する。	
連絡先	mwata@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容	
第1週	研究テーマの設定・受講ガイダンス 各指導教員のもとで、個別に説明・指示する。
第2週	個別・グループ研究 各指導教員のもとで実施する。
第3週	個別・グループ研究 各指導教員のもとで実施する。
第4週	個別・グループ研究 各指導教員のもとで実施する。
第5週	個別・グループ研究 各指導教員のもとで実施する。
第6週	個別・グループ研究 各指導教員のもとで実施する。
第7週	個別・グループ研究 各指導教員のもとで実施する。
第8週	個別・グループ研究 各指導教員のもとで実施する。
第9週	個別・グループ研究 各指導教員のもとで実施する。
第10週	個別・グループ研究 各指導教員のもとで実施する。
第11週	個別・グループ研究 各指導教員のもとで実施する。
第12週	個別・グループ研究 各指導教員のもとで実施する。
第13週	個別・グループ研究 各指導教員のもとで実施する。
第14週	個別・グループ研究 各指導教員のもとで実施する。
第15週	個別・グループ研究 各指導教員のもとで実施する。
期末試験実施せず	

授業の計画・内容	
第16週	個別・グループ研究 各指導教員のもとで実施する。
第17週	個別・グループ研究 各指導教員のもとで実施する。
第18週	個別・グループ研究 各指導教員のもとで実施する。
第19週	個別・グループ研究 各指導教員のもとで実施する。
第20週	個別・グループ研究 各指導教員のもとで実施する。
第21週	個別・グループ研究 各指導教員のもとで実施する。
第22週	中間発表 個別、グループ別に中間報告を行う。
第23週	個別・グループ研究 各指導教員のもとで実施する。
第24週	個別・グループ研究 各指導教員のもとで実施する。
第25週	個別・グループ研究 各指導教員のもとで実施する。
第26週	個別・グループ研究 各指導教員のもとで実施する。
第27週	個別・グループ研究 各指導教員のもとで実施する。
第28週	個別・グループ研究 各指導教員のもとで実施する。
第29週	卒業研究発表会 個別、グループ別に発表会を行う。
第30週	審査会 個別、グループ別に論文審査を行う。
期末試験実施せず	